

地域活性化伝道師プロフィール		分野		農・林・水産業		
		地域産業・イノベーション・農商工連携				
		地域医療、福祉・介護、教育		観光・交流		○
		地域コミュニティ・集落再生		環境		◎
		地域交通・情報通信		まちづくり		○
ふりがな		くぼた まなぶ				
氏名		久保田 学				
所属	名称	北海道環境パートナーシップオフィス／公益財団法人北海道環境財団				
	役職	コーディネーター				
連絡	住所	(公開)	〒060-0042 札幌市中央区大通西5丁目11 大五ビル7階			(職場)
		(公開)	E-Mail kubota[アットマーク]heco-spc.or.jp			
	連絡先	(公開)	TEL 011-596-0921	FAX -		
		連絡方法 E-Mailでお願いします				
略歴	<p>中央省庁で環境政策に従事した後に、1997年9月から財団法人北海道環境財団に勤務し、2010年4月～2023年3月まで事務局次長を務め、同年4月より現職。この間、法に基づく北海道地球温暖化防止活動推進センター(1999年度～)、環境省北海道環境パートナーシップオフィス(2005年度～)、釧路湿原自然再生普及行動計画(2005年度～)、環境中間支援会議・北海道(2010年度～)、北海道地方ESD活動支援センター(2016年度～)などの設計・運営等、一貫して公共政策と環境・地域づくりの現場をつなぐ継続的な支援の仕組みづくりに携わってきた。2015年頃からは、オーストリアやドイツなどでエネルギー自立自治体の成立要因や地域エネルギーエージェンシー等の中間支援組織、関連政策等を調査に参画し、情報発信している。</p> <p>一般社団法人地球温暖化防止全国ネット理事、日本環境教育学会気候変動教育研究会幹事、日本環境学会幹事、RCE北海道-道央圏運営委員、北海道SDGs連携会議委員、等も務めている。</p>					
著作・論文等	<p>分担執筆:『エネルギー自立と持続可能な地域づくり』(的場信敬・平岡俊一・上園昌武編, 2021)</p> <p>企画・制作:『もうひとつの北海道環境白書2012』(環境中間支援会議・北海道、北海道大学環境科学院, 2012), 『もうひとつの北海道環境白書2』(同上, 2014), 『鶴居村釧路湿原流域ガイドマップ』(釧路湿原自然再生協議会・鶴居村・鶴居村観光協会, 2014)、他</p>					
取組概要	<p>(1) 地域循環共生圏・ローカルSDGs構築への伴走支援</p> <ul style="list-style-type: none"> - 環境とまちづくりの統合、地域課題の同時解決 - 地域脱炭素と生物多様性保全の両立 - サステイナブルツーリズムの普及、等 <p>(2) 持続可能な開発のための教育(ESD)の実践・支援</p> <ul style="list-style-type: none"> - 学校・社会教育施設における学びの場づくり(環境・SDGs等) - 気候変動を切り口とする学習・研修等の設計・実践 - スタディーツアー、フィールドワークショップ等の企画・運営、等 <p>(3) 地域脱炭素・環境政策のプロセス支援</p> <ul style="list-style-type: none"> - 政策形成への住民参加、合意形成 - 政策コミュニケーションの企画・実践 - 政策提言やパブリックコメントを引き出すワークショップ、等 					
メッセージ	<p>地域を豊かにする脱炭素、自然・環境資源のワイズユース等、地域の未来への投資をいっしょに考えていきましょう。官主導や域外資本に依存しがちな「地方」から、ボトムアップ・内発的な地域づくりへの変革に向けて、その手段としての環境政策や官民協働をお手伝いします。住民参加と協働、政策と地域・市民のズレをつなぐ政策コミュニケーションの創出に向けて、北海道内に限らず全国の環境パートナーシップオフィスや地球温暖化防止活動推進センター等の中間支援機能のネットワークにもつながります。是非ご活用ください。</p>					
関連ホームページ	https://epohok.jp/ https://esdcenter.jp/ https://www.jccca.org/		活動エリア	全国		

※ 公開できる情報のみ掲載しています。

※ 依頼・相談等に伴う謝礼等条件につきましては、双方協議の上、決定してください。

※ メール送信は、[アットマーク]を@に置き換えて行ってください。